

市議会 6 月会議

一般質問 質問事項	発言順位	1 2	質問議員	小 川 義 昭
-----------	------	-----	------	---------

質 問 要 旨 (概要)

1 公共工事の早期発注に対する考え方

建設業者の経営の安定化はもちろん、そこで働く技能者の処遇改善などにもつながり、また、白山市にとっても多くのメリットが望める国の方策である「公共工事の早期発注」に対しての市の考え方は。

2 公共工事の補助対象事業

- (1) 直近 3 年間の、公共工事の補助対象事業の要求額に対する国の内示額の比率は。
- (2) 補助対象事業を所管している担当部署からの年度当初予算要求額に対する財政部署の査定比率は。

3 公共工事の早期発注の促進

- (1) 国は公共工事の早期発注を促進しているが、どうして本市は、早期発注となるように公共工事を年度当初予算に計上しないのか。
- (2) 国の内示配分額が満額回答を得られない場合を考慮して、7 割程度を年度当初予算に計上すべきでは。

4 「市民協働で創るまちづくり」の進め方

田村新市長は、これから白山市のリーダーとして、28 公民館の仕組みを変えるこの大きな事業「市民協働で創るまちづくり」を、今後どのように進めて行くのか。

5 「市民協働で創るまちづくり」の答弁を受けて

- (1) 「市民協働で創るまちづくり」の質問に対しての答弁を受けてから 1 年以上が経過した。その間、地区とのコミュニティセンターへの移行及び地域コミュニティ組織の設立に向けて、どのような協議を行い、また、地区からどのような同意を得られたのか。
- (2) 令和 3 年度末までに示すといった、職員の勤務体制や業務内容についてはどのようなになっているのか。また、条例についてはどのようなものなのか。

質問要旨(概要)

- (3) 移行までの期間が1年を切り、いかにして市民の皆さんに浸透を図るのか。
- (4) 現在、「市民協働で創るまちづくり」の進捗状況はどのようになっているのか。
- (5) 令和6年4月に公民館からコミュニティセンターへと移行するにあたり、今後の工程表を提示せよ。

6 公民館からコミュニティセンターへの移行

- (1) 公民館からコミュニティセンターへの移行は、地区により公民館として残るところや、コミュニティセンターとして移行する地区に二極化されると、市長部局、教育委員会部局と所管部署の違いが生じ、地区間の連帯性に欠けることになるが、いかに整合性を図るのか。
- (2) 今後、市公民館連合会の位置づけはどのようになるのか。

7 市職員への周知と地区住民との一体化

個々の市職員における理解度がまだまだ乖離しているが、市職員への周知徹底を図り、地区住民と一体となって押し進めて行くべきでは。

8 コミュニティセンターへの移行に際しての疑問点や課題

- (1) コミュニティセンターと地域コミュニティ組織の関係はどうなるのか。
- (2) コミュニティセンターに、将来、当該業務のほかに市役所の補助的な業務が課せられることがあるのか。
- (3) 地域予算交付制度は具体的にどのようになるのか。
- (4) センター長をどのように決めるのか。また、選定にあたり、従来どおり地域の意志は、今後も引き続き反映されるのか。
- (5) 公民館運営審議会はどうなるのか。
- (6) センター長およびセンター職員の応募、募集、採用の手続きはどのようになるのか。

質問要旨(概要)

9 市職員の天下り先機関

センター長やセンター職員については、今後、市職員の天下り先機関として、位置づけをされるのか。

10 金沢総合車両所松任本所の閉鎖に対する考え方

松任工場は旧松任町の企業誘致第1号であり、松任最大の工場として活性化の中心的な役割を担ってきた。これまで本市は「鉄道のまち・白山」とうたい、鉄道によるまちづくりの活性を進めてきた。松任工場の閉鎖は無念だが、市の見解は。

11 閉鎖に至る市とJRとの交渉経緯

- (1) JRから市に対し、松任工場の閉鎖が正式に伝えられたのはいつか。
- (2) その際、市は、JRがこの跡地をどうするのか、タイムスケジュールを含め、どのように考えているのかを聞いたのか。
 - ① 聞いたのであれば、その内容はどのようなものなのか。それに対して、どのようなやり取りを行ったのか。
 - ② 聞かなかったのであれば、本市のまちづくりにおいて極めて重要な問題であるにもかかわらず、なぜ、聞かなかったのか。

12 閉鎖による一等地に対する市の認識

閉鎖により、この場所は白山市のまちづくりにおいて、駅前の一団の土地として極めて重要な案件である。立地条件を含め、この一等地に対する市の認識は。

13 松任工場跡地の活用

市は、極めて重要なこの跡地をどのように活用しようかを考えなければならない。これは、山田市政にはなかった大きな市政の課題である。田村市長の「明日の白山市のまちづくり」を左右するこの大きな課題に対する今後の具体的な考えは。